

特定健診や通院時の検査値を
チェックしてみましょう。

ポイントは発症 重症化 予防！

自分の身体の状態をしっかりと把握し、発症・悪化させないことが大切です。

重症化が進むほど、身体への影響が深刻になり、より多くの治療が必要になります



今日から改善！生活習慣を見直しましょう

- 今よりも「**プラス10分**」体を動かすように心掛ける。
- 1日3食バランスのよい食事を心掛ける。「脂の多い食品」「糖分」「塩分」の量を見直す。
- 喫煙者は禁煙する。

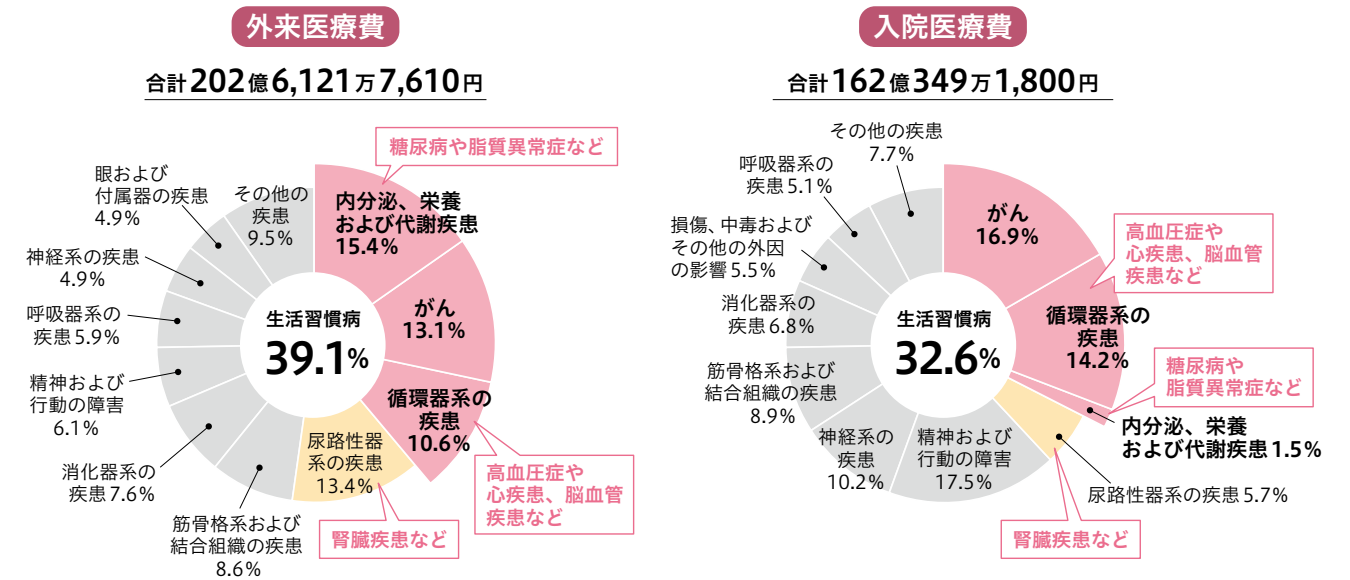
自己管理に+α！ 予防のための重要なポイント

- 健診後、保健指導の利用を勧められた人は、必ず利用する
保健師や管理栄養士へ個別に相談できる機会です。
- 医療機関へ受診している人も、「生活習慣の改善」が治療の基本
日ごろの食事や運動を見直し、できることから取り組みましょう。
- 服薬をしている人は、服薬の時間や量を守る
受診や服薬を自己判断で中断するのは危険です。



◎大分市国保医療費の1年間の総額は？その内訳は？

医療費の疾病別構成割合（3年度）



大分市国保の年間の総医療費は約364億円！そのうち、生活習慣病関連が約4割を占めています。生活習慣病は自覚症状が少なく、そのままにしておくで重症化して、命にかかわる重大な病気へつながることもあります。治療費が多くかかるだけでなく、生活機能の低下や要介護状態になるなど、自身や家族にも大きな負担がかかってしまいます。

◎大分市ではどのような疾患での死亡が多い？

主要死因別死亡割合の上位5項目(大分市)

項目	割合(%)
1位 がん(悪性新生物)	28.8
2位 心疾患	14.3
3位 老衰	9.5
4位 脳血管疾患	7.7
5位 肺炎	4.7

出典：厚生労働省 人口動態調査(2年度)

大分市の死因の約半数を生活習慣病に起因する病気が占めています。中でも、がん(悪性新生物)は30年以上も死因第1位となっており、日本人の2人に1人が一生のうち何らかのがんと診断されるといわれています(※1)。また、2位の心疾患や4位の脳血管疾患は、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病と深く関係しています。成人の6人に1人は糖尿病、2人に1人は高血圧症といわれている身近な病気です(※2)。

※1 国立がん研究センターがん統計の推計
※2 厚生労働省 国民健康・栄養調査(元年度)

定期的に特定健診・がん検診を受けましょう。

お得に受診できる健(検)診があります。詳しくは、P22～23の保健だよりをご確認ください。

コロナ禍で、特定健診・がん検診や医療機関への受診を控えていませんか？

受診控えにより、生活習慣病やがんの発見・治療が遅れると、病気が重症化して自身の身体に負担がかかるだけでなく、治療が難しくなることがあります。また、生活習慣病は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクとして報告されています。コロナ禍であっても、毎年の健(検)診や定期的な医療機関受診は「不要不急の外出」には当たりませんので、受診するようしましょう。